

授業科目名	医療安全と感染看護学臨地実習		担当教員	◎休波 茂子、中川 泰弥、 新川 実穂	科目ナンバリング NE408
選択	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：臨地実習45時間		

### 【授業概要】

実践は、亀田医療センターのリスクマネジメントシステムと、感染管理室を拠点とした、院内の安全管理と感染管理に参加する。安全な医療を提供するための組織としての取り組み及び看護における安全対策についての知識と技術を、認定看護師(リスクマネージャーと感染看護師)を交えた話し合いを通じて学修する。医療機関における安全対策、院内感染予防対策についての基礎的知識、看護における安全対策、感染予防対策、チーム医療推進事業を学ぶため、施設を見学し、関連した諸活動に参加する。

### 【授業目的・目標】

1. 医療施設を視察し、医療機関における安全文化を形成している要素を明確にする。
2. 過去の事例に基づいて、事故発生のメカニズムを分析し、その予防対策について論議する。
3. 過去の事例を掲げて、看護における事故発生の背景、要因、対策について論議する。
4. 実習施設の安全対策と感染予防対策に関する看護の役割に必要な知識と技術がどのようなものかを明確にする。

### 【履修条件】

「医療安全」と「医療安全と感染看護学」を修得していること。

### 【授業計画】

- 実習1日目 感染看護実習(病院)
- 実習2日目 感染看護実習(病院)
- 実習3日目 医療安全実習(病院)
- 実習4日目 医療安全実習(病院)
- 実習5日目 グループワーク(まとめ)

### 【教科書】

指定なし

### 【参考書】

2年次「医療安全」で示された参考書、授業で配布された資料

### 【評価方法・評価基準】

課題レポート×2(40%)、実習目標到達度による評価(60%)

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：実習目標を達成するために文献や図書により知識を確認する。

事後学習：1日の実習終了後に各自体験したことを振り返り記述する。実習での学びを振り返り課題レポートとして記述する。

### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ：質の高いケアを実践するためのリーダーシップ能力、Ⅴ：多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ：生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

実習に関わる記録については4年後期の初旬に学生個人に返却する(掲示により連絡)

### 【備考】

医療安全(感染管理も含む)に関する技術は医療施設で働き始めると同時に求められる。本実習では、こうした技術を身につけ活用できるように取り組むこと。

病院における医療の質と安全管理業務に5年以上携わってきた教員が臨地実習を指導する。